

今の世、しそまきの唐がらししそまきのめうが、しそまきのうど、しそまきの蓮根などいふものいとおほかり、延喜大膳式下に、醬瓜、糟漬瓜、荳裏、各一顆、また鹽七斗二升八合、醬四斗一升七合、並味醬漬及荳裏料などあり、この荳裏は、荳の葉に裏みたるにて、今の紫蘇裏の類也、今も紫蘇のみにも限らず、荳の葉をも用る也、同式に茄子荳裏料一顆、中子料半顆云々、また荳裏四百七十六顆、吳桃子二斗、生薑六升、山蘭龍葵子各一斗、舌就一斗云々、舌就一本仙、また荳裏六斗料、瓜九斗、冬瓜七斗、茄子六斗、青根四斗、鹽一斗二升、醬未醬、滓醬、各一石云々、

〔江家次第十一月〕荷前事

主殿居、火櫃、造酒居、甘糟、荳裏、柑子、橘等、

〔新撰字鏡〕連火、阿子突反、醬屬也、壘、阿戸毛乃、

〔倭名類聚抄〕十六壘、四聲字苑云、壘、即番反、訓安不、擣薑蒜以醋和之、

〔箋注倭名類聚抄〕鹽梅玉簫、蓋蒜爲之、齋同上、其義與四聲字苑同、說文、整、隆也、又載齋云、或从齋

墜齋也、互訓、釋名、齋、濟也、與諸味相濟成也、周禮、醢人、五齊注、齊當作齋、凡醢醬所和、細切爲齋、全物

若牒爲菹、王念孫曰、菹者細切之名、莊子、糝粉是也、段玉裁曰、菹、酢菜也、酢菜之細切者爲菹、通俗文

云、淹韭曰齏、淹菹曰墜、蓋其名起於淹韭淹菹、故从韭、

〔伊呂波字類抄〕安食齏、アヘモノ、醋、七命云、醋、壘、醬屬也、和、整已上

〔運步色葉集〕阿壘物

〔書言字考〕節用集、服食、壘物爲之、辛味

〔東雅〕飲食、壘アヘモノ、倭名鈔に、四聲字苑を引て、壘はアフといふ、一つにアヘモノといふ、擣薑

蒜以酢和之と注せり、アフト云ひアヘといふは、舊説に和の字讀てアユといふと見えし即是也

辛辣之菜を搗たるにて、酒酢に和したるをいふ也、薑蒜を搗て醋に和して喰ふは、辛辣の味に取る